

○ペメトレキセド「ニプロ」による

非小細胞肺がんの治療を受けられる 患者さんとご家族の方へ

(プラチナ製剤との併用)

監修:がん研有明病院 院長補佐 兼 呼吸器センター長

西尾 誠人先生



はじめに

ペメトレキセド「ニプロ」(以下、ペメトレキセド)とプラチナ製剤の併用療法は、 すい細胞肺がんの治療法の1つで、ペメトレキセドとプラチナ製剤という 2種類の抗がん薬を組み合わせて使います。

ペメトレキセドとプラチナ製剤の併用療法(以下、ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法)による非小細胞肺がんの治療を受けられる患者さんとご家族の方が、治療について正しく理解し、できるだけ安心して治療に臨んでいただけるよう、この冊子では、ペメトレキセド及びプラチナ製剤の働き、治療スケジュール、主な副作用、治療前・治療中の注意点などを説明します。

巻末にある治療ダイアリーなどを活用して、ご自身の体調の変化や、 気になること、質問したいことなどをメモし、受診時にご持参ください。

治療効果を得るためには、治療の継続が大切です。治療を開始してからも、少しでも気になる症状、不安や疑問に思うことなどがありましたら、自己判断で治療を中止せず、まずは医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフにご相談ください。

医療スタッフはあなたの治療を支える仲間です。

がん研有明病院 院長補佐 兼 呼吸器センター長

西尾 誠人

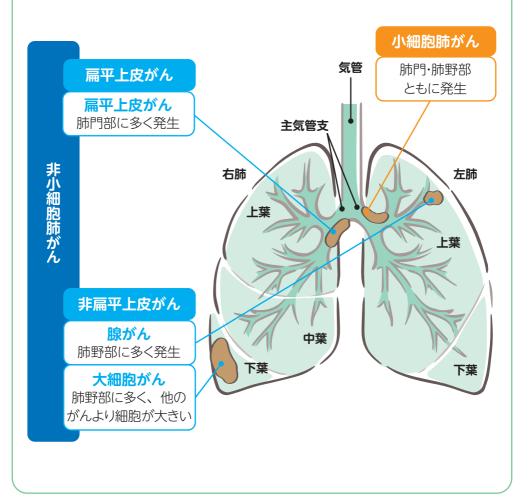
目次

非小細胞肺がんとは ————————————————————————————————————	 3
■ 肺がんの薬物療法 —	4
● ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法について ────	5
● 治療前に確認いただきたいこと ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	<u> </u>
ペメトレキセド・葉酸・ビタミンB₁₂とプラチナ製剤の投与方法	 7
● 治療スケジュールについて―――――	9
副作用について	— 11
● 治療中に気をつけること ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	<u> </u>
● 治療ダイアリー記入例	20
治療ダイアリー	21

非小細胞肺がんとは

● 非小細胞肺がんとは

肺がんは、組織型(種類)により非小細胞肺がんと小細胞肺がんの2つに 大別されます。非小細胞肺がんは、さらに、扁平上皮がんと非扁平上皮がん (腺がん、大細胞がんなど)に分類されます。



肺がんの薬物療法

● 薬物療法とは

薬物療法とはお薬によってがん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞の成長を 遅らせたりする治療です。薬物療法は全身治療であり、より広い範囲に効果 を発揮することが期待できます。薬物療法は手術や放射線治療と組み合わ せて行うこともあります。

● 肺がんの治療薬

肺がんの薬物療法に使われるお薬は、「化学療法薬」、「免疫チェックポイント阻害薬」、「分子標的薬」に大きく分けられます。肺がんの薬物療法では、1種類のお薬を使う方法と、数種類のお薬を組み合わせる方法があります。

化学療法薬

化学療法に用いられるお薬で、「細胞傷害性抗がん薬」又は「殺細胞性抗がん薬」と呼ばれる こともあります。細胞分裂を阻害することで、がん細胞の増殖を抑えます。主な細胞傷害性 抗がん薬として、代謝拮抗薬、プラチナ製剤、微小管阻害薬などがあります。

免疫チェックポイント阻害薬

免疫は感染症や病気から体を守るための重要な生体防御機能ですが、免疫の力が強くなりすぎると、自分自身を傷つけてしまう「自己免疫反応」を生じることがあるため、体内には免疫を制御するブレーキ機能も備わっています(免疫チェックポイント機構)。がん細胞はこの仕組みを巧みに利用し、自分に対する免疫細胞(T細胞)の攻撃にブレーキをかけます。免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞からT細胞へ送られる異物攻撃中止の命令を解除するように働き、免疫細胞の働きを復活させます。

分子標的薬

分子標的薬は、がん細胞の増殖や転移にかかわる特定の機能を有する分子に作用して、が んの細胞増殖を抑えるお薬です。分子標的薬は、がん細胞の増殖因子やその受容体、細胞 内で増殖の信号を伝える分子を標的として狙い撃ちし、抗腫瘍効果を発揮します。

ペメトレキセド+ プラチナ製剤併用療法について

● ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法は非扁平上皮がんの治療法の1つ

ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法は、ペメトレキセドとシスプラチン又はカルボプラチンを組み合わせて用いる化学療法で、非小細胞肺がんのうち、非扁平上皮がんの治療に用いられます。

● ペメトレキセドについて

がん細胞は、遺伝子であるDNAがなければ増えることができません。ビタミンの一種として知られる葉酸は、細胞増殖におけるDNA合成に必要不可欠な物質です。ペメトレキセドと葉酸の化学構造は似ているため、がん細胞は葉酸と間違えてペメトレキセドを取り込みます。その結果、DNA合成ができず、がん細胞は死滅します。

ペメトレキセドによる治療では、重篤な副作用の 発現頻度を減らす目的で、必ず葉酸とビタミン B12を併せて投与します。

● プラチナ製剤について

シスプラチンとカルボプラチンはプラチナ製剤に 分類され、がん細胞のDNAと結合することで、 がん細胞の分裂を阻害し、増殖を抑えます。



治療前に確認いただきたいこと

治療を開始する前に以下の項目について確認し、いずれかにあてはまる方は、必ず医師、薬剤師、看護師にお伝えください。

薬や食べ物にアレルギーがある、又はアレルギー症状(発疹、発赤、 かゆみ、呼吸困難、めまい、血の気が引いて唇や指先が青紫色 になる、など)を起こしたことがある。
市販薬(薬局やドラッグストアで買うお薬)も含めて、現在使用しているお薬(飲み薬、貼り薬、塗り薬、坐薬、目薬などどんなお薬でも)がある。
使用中の健康食品、サプリメントがある(総合ビタミン剤、ビタミンサプリメントなどのビタミン剤についても忘れずに伝えてください)。
他の医師又は歯科医師による治療を受けている、又は受けよう としている。
間質性肺炎、肺線維症にかかっている、又は以前にかかったことがある。
妊娠している、又は妊娠している可能性がある。/パートナーが 妊娠する可能性がある。
授乳中である。
耳が聞こえない、聞こえにくい、耳鳴りがする。

ペメトレキセド・葉酸・ビタミンB12

● ペメトレキセドとプラチナ製剤を点滴投与

ペメトレキセドは、10分間かけて静脈内へ点滴投与します。その後、プラチナ製剤であるカルボプラチン又はシスプラチンを静脈内へ点滴投与します。主治医の判断で、制吐薬やステロイド薬を併用することもあります。また、シスプラチンは腎臓に負担のかかるお薬のため、シスプラチンを投与するときは、腎臓の負担軽減のために、前後に輸液を点滴投与します。

□ カルボプラチンを併用するときの投与スケジュール例



□ シスプラチンを併用するときの投与スケジュール例

 輸液
 制吐薬・ ステロイド
 ペメトレキセド 点滴静注
 輸液 点滴静注
 シスプラチン 点滴静注
 輸液

10分間 60分間

上記投与スケジュールは参考例です。投与時間を含め、実際の投与スケジュールは患者さんの体調をみながら 決められます。

● ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法は3週間に1回の繰り返し投与

ペメトレキセドとプラチナ製剤(カルボプラチン又はシスプラチン)は1回投与したら、次の投与まで20日以上間隔をあける(休薬する)必要があります(約3週間に1回投与)。この3週間を1コースとして、通常合計4コース繰り返します。

とプラチナ製剤の投与方法

● 通院による外来治療も可能

ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法は、入院だけでなく、通院による外来治療も可能です。患者さんの状態などを踏まえて、入院治療又は外来治療が選択されます。

● ペメトレキセドの投与には葉酸とビタミンB12が必要不可欠

ペメトレキセドによる治療では、白血球や血小板の減少、嘔吐や下痢などの副作用が生じることがあります。これらの副作用対策として、葉酸とビタミンB12を必ず併用する必要があります。いずれもペメトレキセドの投与開始前から投与します。

● 葉酸は1日1回毎日内服

葉酸は、ペメトレキセドを最初に投与する(初回投与)日の7日以上前から、毎日 1回内服します。ペメトレキセドの投与を中止又は終了する場合は、最後にペメト レキセドを投与した(最終投与)日から22日目まで葉酸の内服を続けます。

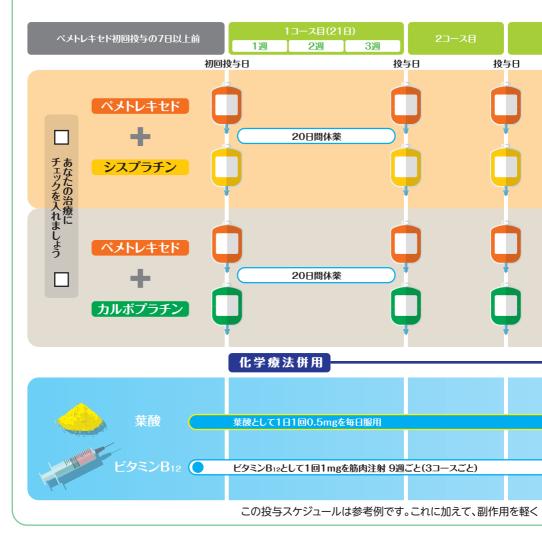
● ビタミンB12は9週ごとに筋肉注射

ビタミンB₁₂は、ペメトレキセド初回投与日の少なくとも7日前に筋肉注射で投与します。その後、ペメトレキセドの投与期間中及び投与中止後22日目まで、9週ごと(3コースごと)に1回投与します。

治療スケジュ

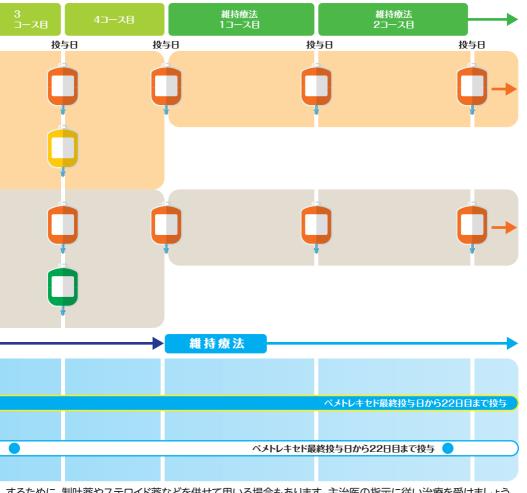
● ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法からペメトレキセド単独維持療法の流れ

ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法を、通常4コース行った後に、病状の安定、 腫瘍(がん)の縮小などの効果が認められた場合は、その効果を維持するために ペメトレキセドの単独投与を続けて行うことがあります(「維持療法」といいます)。



ールについて

治療効果と副作用、患者さんの体調などを含めて医師が総合的に判断し、維持 療法を行うかどうかを決定します。維持療法の期間も通院による外来治療が可 能です。



するために、制吐薬やステロイド薬などを併せて用いる場合もあります。主治医の指示に従い治療を受けましょう。

副作用について

ペメトレキャドやプラチナ製剤などの細胞傷害性抗がん薬は、がん細胞だけでな く正常な細胞にも作用するため、正常な細胞の働きが障害されて、好ましくない 症状(副作用)があらわれることがあります。副作用には個人差があり、あらわれ る症状やその強さはさまざまですが、あらかじめ、いつ頃どのような副作用があ らわれやすいかを知っておくことで、副作用の早期発見と速やかな対処が可能と なります。

副作用の種類や程度によって、患者さんの体調を考え、医師の判断によりがんの 治療をいったん中止又は延期することがあります。副作用の早期診断と治療を行 うことで、本来のがんの治療を中止せずにすむこともあります。少しでも異常を感 じたり、気になる症状があるときは、がまんせず、早めに医師、薬剤師、看護師に 伝えましょう。

■ ペメトレキセド+プラチナ製剤併用療法の主な副作用とあらわれやすい時期*

投与中~数日

- ●吐き気・嘔吐
- ●食欲不振
- ●倦怠感

数日~数週間

- ●吐き気・嘔吐
- ●食欲不振
- ●下痢
- ●脱水 ●□内炎
- ●骨髄抑制(白血球減少、好中球減少、血小板減少など)
- ●発疹

数週間~数ヵ月

- ●骨髄抑制(白血球減少、好中球減少、血小板減少など)
- ●感染症
- ●下痢
- ●脱水
- ●間質性肺炎 ●脱毛
- ●腎障害 ●浮腫
- ●末梢神経障害 ●聴力低下・難聴・耳鳴り
- *:図はそれぞれの副作用があらわれやすい時期を示していますが、 これ以外の時期にも起きることがありますので注意しましょう。

● 主な副作用と対策

□ 発熱、感染症(白血球減少)

白血球が減少すると細菌やウイルス、真菌(カビ)などに対する抵抗力が弱くなり、感染症にかかりやすくなります。

り、感染症にかかりやすくなります。 重い感染症として敗血症(体の中で細菌などが繁殖し、さまざまな臓器の機能が 障害された状態)や肺炎を起こすことがあります。これらの感染症は重症化すると 命にかかわることもあるため、以下のような症状があらわれた場合はすぐに医師、 薬剤師、看護師にご相談ください。

- 寒気、体のふるえ、全身の倦怠感
- ○咳
- 発熱(特に37.5℃以上の高熱)
- のどの痛み
- 排尿時の痛み、肛門痛
- ○下痢



工夫点

- ・外出からの帰宅時、トイレの後、調理の前・食べる前などには、石けんと流 水でしっかり手を洗いましょう。
- ・なるべく人ごみを避けるよう心がけましょう。
- ・うがいや歯みがきで口の中を清潔に保ちましょう。

□ 出血(血小板減少)

血小板には出血したときに血を固める働きがあります。そのため血小板が減少すると、内出血や出血が起きやすくなったり、血が止まりにくくなったりします。

日常生活での

- ・転倒や打撲、ケガには十分注意しましょう。
- ・歯みがきは柔らかい歯ブラシを使い、強くこすらないようにしましょう。
- ・ひげそりには電気カミソリを使い、切り傷をつくらないようにしましょう。

□ 貧血(赤血球減少)

赤血球の赤い色素であるヘモグロビンは、血液中で酸素とくつついて、体のすみずみに酸素を運ぶ役割を担っています。ヘモグロビンが減少すると酸素が十分にいきわたらなくなり、貧血を起こし、めまい、ふらつき、動悸、息切れ、頭痛などの症状があらわれます。

工夫点 工夫点

- ・十分な睡眠・休息時間をとり、 安静に過ごしましょう。
- ・タンパク質や鉄分などを摂るようにし、バランスのよい食事を心がけましょう。



□下痢、脱水

下痢が続くと脱水を起こしやすくなります。下痢の症状が続く場合はすぐに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

工夫点 日常生活での

- ・食事は消化のよいものを、何回かに分けて摂るようにしましょう。
- ・脱水を防ぐため、お茶や水だけでなく、スポーツドリンクや経口補水液な ど、水分とナトリウム、カリウムなどの電解質を含む飲み物も飲みましょう。 医師、看護師又は栄養士等に相談してみるとよいでしょう。
- ・冷たい食べ物・飲み物は避け、常温に近いものを摂るようにしましょう。

□ 吐き気、嘔吐、食欲不振

患者さんによって程度は異なりますが、お薬の投与直後から数日間にわたり吐き気や嘔吐の症状があらわれることがあります。吐き気はお薬によって軽減することができますので、つらいときはがまんせずに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

工夫点 日常生活での

- ・食べられるときに消化のよいものを少量ずつ食べるとよいでしょう。
- ・食事がとれない場合は、水分だけでも摂るようにしましょう。

□ 倦怠感•疲労感

お薬の投与後にだるさや疲れやすさを感じることがあります。無理をせず、十分 に体を休めるようにしましょう。日常生活に支障が生じるほどつらいときは、 がまんせず、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

工夫点 日常生活での

- ・無理をせず睡眠や休養をとりましょう。
- ・ご自身のリラックス方法を取り入れてみるのもよいでしょう。

□脱毛

髪の毛だけでなく、まゆ毛やまつ毛などの体毛が抜けることがあります。ほとんどの方は治療が終われば少しずつ回復しますが、個人差があります。

工夫点 日常生活での

・帽子やバンダナ、ウィッグなどを利用してみましょう。

□ むくみ(浮腫)

長い期間投与したときに、目の周りやまぶたが腫れたり、手足がむくむことがあります。症状を改善するために利尿薬を使うことがあります。症状がひどい場合は、医師、薬剤師、看護師に相談しましょう。

□□内炎

口内炎がひどくなると食事がとれなくなることがあります。

工夫点日常生活での

- ・クチュクチュうがいで口腔内のうるおいと清潔を保ちましょう。
- ・毛の柔らかい歯ブラシを使いましょう。



□ 発疹

お薬の投与後、発疹があらわれることがあります。症状をやわらげたり、悪化を防ぐため、ステロイド(副腎皮質ホルモン)の塗り薬などを使うことがあります。 ステロイド薬は、適切な時期に、正しい量を正しく使えば、他の多くのお薬と 同様に適切な効果が得られるお薬です。医師、薬剤師の指示通りに使いましょう。

□ 間質性肺炎

空気中の酸素を血液中に取り込む肺胞の壁やその周辺の「間質」に炎症が起きることで、肺胞と毛細血管の間の壁が厚く硬くなり、酸素が取り込まれにくくなる病気です。間質性肺炎が起きることはまれですが、重症化すると命にかかわることもあるので注意が必要です。息切れ、痰を伴わない咳、発熱があらわれた場合は、すぐに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

□ 腎障害・腎不全

お薬の投与後、腎臓の働きが悪くなることがあります。ほとんど尿が出ないときやむくみが生じた場合は、すぐに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

□ 末梢神経障害

化学療法の影響で末梢神経が障害されて起きる感覚・運動・自律神経障害です。 手足のしびれ感や痛みで始まることが多いとされます。以下のような感覚の違 和感や異常に気付いたときは、放置せず、できるだけ早く症状が軽いうちに医 師、薬剤師、看護師に相談しましょう。

- ・ジンジン、ピリピリ、チクチクなどの異常感覚
- ・何かに触れただけで、電気が走るような痛みを感じる、知覚過敏になる
- ・何かにさわっても感覚がない、感覚が鈍くなり、痛みや温度を感じない
- ・つまずきやすい、物をつかみにくい、持つことができずすぐに落としてしまう

□ 聴力低下・難聴、耳鳴り

お薬の投与開始直後から発現し、初期症状は耳鳴り、高音域や電子アラーム音が聞き取りにくいといった症状で始まることが多いとされます。以下のような症状がみられた場合にはすぐに医師、薬剤師、看護師に伝えましょう。

- 耳が聞こえづらい
- ・ピー、キーンといった耳鳴り
- 耳が詰まった感じがする

□ しゃっくり(吃逆)

しゃっくりが長く続くことで、食事がとりにくい、ゆっくり眠れないなど、生活に影響がみられる場合には、医師、薬剤師、看護師に相談しましょう。しゃっくりを止めるためのお薬が処方されることもあります。

● ペメトレキセドの副作用のうち、重い症状を引き起こす可能性のある下記の 副作用があらわれることがあります。

- 骨髄抑制 感染症 間質性肺炎
- ショック、アナフィラキシー 重度の下痢 脱水
- 腎不全 中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群

★ この冊子で紹介した副作用以外にも、体調の変化や何らかの症状がみられた ときは、早めに医師、薬剤師、看護師等にご相談ください。

治療中に気をつけること

- ・医師、薬剤師、看護師からの指示を守り、なるべくリラックスして無理のない生活を送ることを心がけましょう。
- 体調のよいときは、軽い散歩などでリフレッシュするようにしましょう。
- 痛みやしんどさ、不安は決して一人でがまんせず、医師、薬剤師、看護師等に相談してください。さまざまな分野の専門の医療スタッフが、あなたを身体的・精神的に支援します。
- ・感染予防(手洗い、うがいなど)に努めましょう。
- ・他の医療機関や診療科を受診する際には、ペメトレキセド、プラチナ製剤(カルボプラチン又はシスプラチン)、葉酸、ビタミンB₁₂を使用中であることを忘れずに伝えてください。

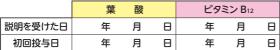
治療ダイアリー記入例

葉酸及びビタミン B12 の使い方について医師又は薬剤師から説明を受けた日、 投与を開始した日を記入してください

	葉	酸		ビタ	ミン B ₁ :	2
説明を受けた日	2021年	9月	3 ⊟	2021年	9月	3 ⊟
初回投与日	2021年	9月	3 ⊟	2021年	9 月	3 ⊟

	- C #	2021年	0 -	14日	2021	<u></u> — О		1 5 -	7-			П
	日付	2021年	7 A	140	2021	+ 7	B	138	年	月	8	
	葉酸	(\mathcal{O}_{-}				<u> </u>					
治	ビタミンB12 ペメトレキセド	,	$\overline{}$									
療	カルボプラチン/シスプラチン	(<u></u>									
薬	(どちらかに)をつけてください)	4	$\mathcal{O}_{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline{\underline$									
												L
体重			5 5	kg		5		kg			kg	L
体温		3	6.5	℃		36	. 8	℃			℃	L
血圧	(最高/最低) (mmHg)		5/75			118/	73			/		L
1⊟0	0食事量	いつもと同じ 食べられない		'n	いつもる 食べられ		なり		いつもと同じ 食べられない	少ない	,1	
排尿	回数·量	排尿回数:多 排尿量 :多 排尿痛 :あ	小同じ		排尿回数 排尿量 排尿痛		愈 :		排尿回数:多い 排尿量 :多い 排尿痛 :あり	同じ		
排便	回数	[1] 🛛	[2]	0	[] 🛛	
吐き	気・嘔吐		0									
体が	だるい		0				$\overline{}$					Г
めまり	い・立ちくらみ											
息切	れ、呼吸が苦しい											Γ
あおる	あざ・内出血、出血しやすい											
咳		痰がから	が /	空咳	痰か	がからむ	/	空咳	痰がからむ	/ ت	空咳	Г
発疹	・かゆみ											
口内	炎											
脱毛												
手足	のむくみ											Г
目の	まわり、まぶたの腫れ											
聞こ	えづらい、耳鳴り											Γ
手足	のしびれ											
その	他の気になる症状	点滴した! る気がする	ころが	重れてい								
メモ												

葉酸及びビタミン B_{12} の使い方について医師又は薬剤師から説明を受けた日、投与を開始した日を記入してください





_													
	日付	1	ŧ	月	В		年	月	В	É	ŧ.	月	В
	葉酸												
治	ビタミンB12												
療	ペメトレキセド												
薬	カルボプラチン/シスプラチン (どちらかに○をつけてください)												
体重					kg				kg				kg
体温					$^{\circ}$				$^{\circ}$				$^{\circ}$
血圧	(最高/最低) (mmHg)			/				/				/	
180	の食事量	いつもと 食べられ		少なし	,1	いつもる		少なし	,1	いつもと 食べられ		少なり	۱,
排尿	回数•量	排尿回数 排尿量 排尿痛	:多い	同じ		排尿回数排尿量排尿痛	:多い	同じ		排尿回数排尿量排尿痛		同じ	
排便	回数	[] 🛛	[] 🛛	[] 🛽
吐き	気・嘔吐												
体が	だるい												
めま	い・立ちくらみ												
息切	れ、呼吸が苦しい												
あおる	あざ・内出血、出血しやすい												
咳		痰が	からも	/ ت	空咳	痰力	がからも	<i>'</i>	空咳	痰か	iからt	/ د	空咳
発疹	・かゆみ												
口内	炎												
脱毛													
手足	のむくみ												
目の	まわり、まぶたの腫れ												
聞こ	えづらい、耳鳴り												
手足	のしびれ												
その	他の気になる症状												
メモ													



年	月 日	年	月	В	年	月	В	年	Ē	月	В
	kg		l	٧g			kg				kg
	$^{\circ}$			$^{\circ}$			$^{\circ}$				℃
/			/			/			/		
		いつもと同じ			いつもと同じ	-			-		I
		食べられない			食べられない			食べられれ			
		排尿回数:多い排尿量:多い			排尿回数:多い排尿量 :多い			排尿回数:排尿量:			- 1
		排尿痛 :あり			排尿痛 :あり			排尿痛 :			
[] 🗇	[] 🛽		[] 🗇	[]	0
痰がからむ	/ 空咳	痰がからむ	3 / 空咳		痰がからも	` /	空咳	痰がた	からむ	/	空咳

	日付	1	年	月	В		年	月	В	角	Ę	月	В
	葉酸												
治	ビタミンB ₁₂												
療	ペメトレキセド												
薬	カルボプラチン/シスプラチン (どちらかに○をつけてください)												
体重					kg				kg				kg
体温					$^{\circ}$				$^{\circ}$				$^{\circ}$
血圧	(最高/最低) (mmHg)		,	/				/				/	
180	D食事量	いつもと 食べられ		少ない	۱,	いつもと 食べられ		少なし	١	いつもと 食べられ		少な(۸,
排尿	回数•量	排尿回数 排尿量 排尿痛	:多い	同じ		排尿回数排尿量排尿痛	:多い	同じ		排尿回数排尿量排尿痛	:多い	同じ	
排便	回数	[] 🛽	[] 🗇	[] 🗇
吐き	気・嘔吐												
体が	だるい												
めまり	い・立ちくらみ												
息切	れ、呼吸が苦しい												
あおる	あざ・内出血、出血しやすい												
咳		痰が	からむ	6 /	空咳	痰か	がら む	3 /	空咳	痰か	がらも	/ د	空咳
発疹	・かゆみ												
口内	炎												
脱毛													
手足	のむくみ												
目の	まわり、まぶたの腫れ												
聞こ	えづらい、耳鳴り												
手足	のしびれ												
その	他の気になる症状												
メモ													

治療ダイアリー

								/山床	<u> </u>	
年	月 日	年	月	В	年	月	В	年	月	В
	kg			kg			kg			kg
	℃			℃			$^{\circ}$			℃
/		,	/			/			/	
いつもと同じ <u>タ</u>		いつもと同じ 食べられない			いつもと同じ 食べられない			いつもと同じ 食べられない		
排尿回数:多い 「 排尿量 :多い 「 排尿痛 :あり な	同じ 少ない		同じ 少な	い	排尿回数:多い 排尿量 :多い 排尿痛 :あり	同じ	少ない	排尿回数:多い 排尿量 :多い 排尿痛 :あり	同じ 少	
[] 🗇	[] 🗇		[] 🛽	[] [0
痰がからむ /	/ 空咳	痰がからむ	2 / 空咳	ŧ	痰がからむ	` /	空咳	痰がからも	· / 3	空咳

	日付	年	月	В	年	月	В	年	月	В
	葉酸									
治	ビタミンB12									
療	ペメトレキセド									
薬	カルボプラチン/シスプラチン (どちらかに○をつけてください)									
体重				kg			kg			kg
体温				$^{\circ}$			$^{\circ}$			$^{\circ}$
血圧	(最高/最低) (mmHg)		/			/			/	
180	の食事量	いつもと同じ 食べられない		١	いつもと同し 食べられなし		۱,	いつもと同じ 食べられない		()
排尿	回数•量	排尿回数:多い 排尿量 :多い 排尿痛 :あい			排尿回数:多 排尿量 :多 排尿痛 :あ	い 同じ		排尿回数:多し 排尿量 :多し 排尿痛 :あし		
排便	回数	[]	0	[] 🗇	[] 🗇
吐き										
体が	だるい									
めまり	い・立ちくらみ									
息切	れ、呼吸が苦しい									
あおる	あざ・内出血、出血しやすい									
咳		痰がから	む/	空咳	痰がから	らむ /	空咳	痰がから	む /	空咳
発疹	・かゆみ									
口内	炎									
脱毛										
手足	のむくみ									
目の	まわり、まぶたの腫れ									
聞こ	えづらい、耳鳴り									
手足	のしびれ									
その	他の気になる症状									
メモ										

治療ダイアリー

								/山床	<u> </u>	
年	月 日	年	月	В	年	月	В	年	月	В
	kg			kg			kg			kg
	℃			℃			$^{\circ}$			℃
/		,	/			/			/	
いつもと同じ <u>タ</u>		いつもと同じ 食べられない			いつもと同じ 食べられない			いつもと同じ 食べられない		
排尿回数:多い 「 排尿量 :多い 「 排尿痛 :あり な	同じ 少ない		同じ 少な	い	排尿回数:多い 排尿量 :多い 排尿痛 :あり	同じ	少ない	排尿回数:多い 排尿量 :多い 排尿痛 :あり	同じ 少	
[] 🗇	[] 🗇		[] 🛽	[] [0
痰がからむ /	/ 空咳	痰がからむ	2 / 空咳	ŧ	痰がからむ	` /	空咳	痰がからも	· / 3	空咳

かかりつけ施設情報

施設名: 担当医: 電話番号:

薬局名: 電話番号: